

令和3年度

認可保育所

法人名称	社会福祉法人代々木鳩の会
事業所名称	等々力保育園
事業所所在地	東京都世田谷区奥沢8丁目4番14号
事業所電話番号	03-3704-5103

事業者の理念・方針

理念・方針	
事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）	<ol style="list-style-type: none"> 1) 子どもの人権を尊重し、最善の利益を守ります。 2) 子どもの健やかな育ちを支えます。 3) 保護者の就労を支え、共に子育てを喜びあえるようにします。 4) 地域と積極的に関わり子育てしやすい環境づくりに貢献します。 5) 子どもと共に大人も毎日が楽しく成長し合える環境を構築します。

全体の評価講評

特に良いと思う点

● 子どもの主体性を大切にした保育の展開

生活面では、各年齢に合わせて自分でやろうとする気持ちを大切にしている。遊びでは、自分が遊びたい玩具を選んだり、友だちと関わりながら楽しむ遊びを選ぶなど、自分で決定することを大切にしている。大きいクラスになるとグループで話し合っ決めて経験を積み重ねている。12月のお楽しみ会では、5歳児は自分たちで劇のストーリー作りをし、セリフを考えたり、大道具や小道具を子ども同士で力を合わせて製作している。保育士は子どもの様子を見て、一緒に材料を探したり、困った時にはアドバイスをするなど、子どもが主体の活動を展開している。

● コロナ禍の制約を受けながらの環境や保育の工夫

室内の手洗い場が密になるため、園庭に手洗い場を設置した。屋外では換気が良いため、室内ほど子ども同士の距離をとらずにすむため、手洗いの時間短縮が図られ、子どもの戸外の活動時間が保障できている。室内でも密にならないように遊具や柵を工夫し、子どもの生活を制約せずに保育を継続している。大勢の人が集まる夏祭りは、子どもだけの活動として取り組み、年長クラスが店番をするなど子どもの主体的な活動に変更して実施している。運動会や劇遊びは沢山の保護者が集まらないようにクラス単位でおこない、成長した姿を披露することができている。

● 保護者との信頼関係の構築

日常的に、職員が保護者と話し合うことを大切にし、保護者の意向や要望を聞き取り、保育につなげるようにしている。また、子どもの成長の記録として一人ひとりに「すくすくプラン」を作成し、保護者との面談時に資料として子どもの育ちを共有している。「すくすくプラン」は毎年作成し、卒園時に子どもに渡している。利用者調査では、子どもを第一に考えてくれる、子どもに寄り添いいろいろ工夫してくれる、などの声があり、卒園生の親から口コミで情報を得て、見学を希望する人が多いのも信頼感が高いことをうかがわせている。

さらなる改善が望まれる点

● 職員の意欲向上に向けさらなる取り組みを

園は、職員が一丸となって運営に当たることを目指しており、年2回の園長面談で職員の意向を把握するとともに、役割分担を明確にして職務への自覚を促している。しかし、本園の職員自己評価では、法人が実施する人事異動への不安や職員同士のコミュニケーションが円滑にいかないなどの意見がある。分園の職員自己評価では、職員間の信頼関係に疑問を呈する意見や職員の欠員状態が続き負担が大きいなどの意見がある。どちらも職員の仕事への意欲に対する影響が大きいと見られ、改善に向けた取り組みが望まれる。

● 会議の趣旨を大切に、進行に工夫を

月1回職員会議を実施し、情報の共有や課題の協議等をおこなっている。両園とも職員全員の意見を聞き、職員の意見をできるだけ反映させたいと考えている。職員自己評価では、意見を言いやすい、職員で話し合い決めている、協議内容を分かりやすくまとめ全職員に周知しているなどの声がある。しかし一方、分園の職員自己評価では、話し合いが平行線で終わる、一職員の意見を総意だと認識している、現場の意見が反映されない、何も決まらずに終わるなどの意見が多く、会議進行の工夫が望まれる。

● 地震の揺れに対する強固な備えを

防災に対する高い危機意識を持ち、各クラス内に防災ヘルメットや防災頭巾がすぐに取り出せるように準備をし、避難経路の確保をし、全員が安全な場所に避難する訓練をしている。しかし、最初の激しい揺れが起きた時に、室内の棚から落下物がないか、その下には、子どもや大人はいないかという視点で見直しが必要である。棚の上に置いた絵本や連絡帳に至る全ての物が固定されていないと、スピードをもってぶつかってくるのが想定される。全ての人の命を守るため、全ての部屋を点検し、物を置かない工夫や耐震マット等の活用の検討が望まれる。

事業者が特に力を入れている取り組み

★ 地域との関わりを大切に、ニーズに沿った支援をおこなっている

地域と積極的に関わり、地域の子育て支援を進めることを理念に掲げ、様々な活動に取り組んでいる。コロナ禍で縮小しているものもあるが、子育て支援では、地域の親子のニーズの把握に努めて、育児相談、保育所体験、触れ合い遊びへの招待、親子での観劇会等を実施し、子育ての孤立化や虐待防止に努めており、好評を得ている。また、本園・分園とも町会等地域住民とともに防災訓練を実施するなど、地域との関わりを大切にした園運営に力を入れて取り組んでいる。なお、4時間延長保育、休日保育、年末保育の特別事業の実施も地域貢献となっている。

★ 卒園後も子どもとのつながりを大切にした支援をおこなっている

卒園後は1年生の集いを開催し、年長時代の担任が対応して卒園後の様子を聞いている。また、印象に残っている行事を振り返り、同じ活動をおこなったりするなど、つながりを持てるようにしている。夏祭りや運動会などの行事の際も、卒園児に声をかけている。夏祭りには6年生まで招待状を送り、多い時には400人くらい参加がある。これらの行事は毎年実施しているが、今年はコロナ禍で実施できなかったため、園の近況報告を記した暑中見舞いを送った。今後の取り組み方については、検討して卒園児に対する支援の継続を工夫している。

★ 子どもが食事を楽しいと思えるよう、豊かな食事に力を入れている

食育計画は「楽しく食べる」「各年齢に応じたマナーを身につける」ことを柱としている。茶碗とお椀、箸を使い、昼食、おやつ、夕食の献立はご飯を基本に子どもの馴染みやすいメニューとしている。季節や祝いの行事献立は日常の生活に潤いを与えるように工夫している。栄養士と調理師が子どもの食事中に巡回し、保育士とも連携して食べる様子や子どもの感想を調理に活かし、常に子どもが食べたいと思う食事作りをめざしている。また、子どもが栽培した野菜をリクエストの味付けで調理するなどして、食事の楽しさを増やす工夫をしている。

利用者調査結果

調査概要

- **調査対象**：等々力保育園の本園を利用している82世帯（在籍児童数110名）の保護者および分園を利用している47世帯（在籍児童数54名）の保護者を対象に調査を実施した。兄弟で利用している場合は1回答とした。
- **調査方法**：アンケート方式
共通評価項目による調査用紙を保育園より保護者あて調査協力依頼文書を添えて、各利用者世帯に配付した。回答は評価機関あて直接郵送により回収した。
- 利用者総数：164人
- 利用者家族総数（世帯）：129世帯
- 共通評価項目による調査対象者数：129人
- 共通評価項目による調査の有効回答者数：78人
- 利用者家族総数に対する回答者割合（%）：60.5%
- 調査項目：[共通評価項目](#)

1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	<p>はい 100%</p>
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	<p>はい 99%</p> <p>■ どちらともいえない：1% ■ いいえ：0% ■ 無回答・非該当：0%</p>
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	<p>はい 95%</p> <p>■ どちらともいえない：4% ■ いいえ：0% ■ 無回答・非該当：1%</p>
4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	<p>はい 86%</p> <p>■ どちらともいえない：13%</p> <p>■ いいえ：1% ■ 無回答・非該当：0%</p>
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	<p>はい 73%</p> <p>■ どちらともいえない：5%</p> <p>■ いいえ：0% ■ 無回答・非該当：22%</p>
6. 安全対策が十分取られていると思うか	<p>はい 83%</p> <p>■ どちらともいえない：14%</p> <p>■ いいえ：3% ■ 無回答・非該当：0%</p>
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	<p>はい 88%</p> <p>■ どちらともいえない：8%</p> <p>■ いいえ：0% ■ 無回答・非該当：4%</p>
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	<p>はい 92%</p> <p>■ どちらともいえない：8%</p> <p>■ いいえ：0% ■ 無回答・非該当：0%</p>
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	<p>はい 87%</p> <p>■ どちらともいえない：13%</p>
10. 職員の接遇・態度は適切か	<p>はい 78%</p> <p>■ どちらともいえない：17%</p> <p>■ いいえ：3% ■ 無回答・非該当：3%</p>
11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	<p>はい 91%</p> <p>■ どちらともいえない：6%</p> <p>■ いいえ：1% ■ 無回答・非該当：1%</p>
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	<p>はい 76%</p> <p>■ どちらともいえない：13%</p> <p>■ 無回答・非該当：12%</p>
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	<p>はい 95%</p> <p>■ どちらともいえない：5%</p> <p>■ いいえ：0% ■ 無回答・非該当：0%</p>
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	<p>はい 79%</p> <p>■ どちらともいえない：8%</p> <p>■ いいえ：1% ■ 無回答・非該当：12%</p>
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	<p>はい 86%</p> <p>■ どちらともいえない：12%</p> <p>■ いいえ：3% ■ 無回答・非該当：0%</p>
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	<p>はい 88%</p> <p>■ どちらともいえない：9%</p> <p>■ いいえ：1% ■ 無回答・非該当：1%</p>

17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか



■ いいえ：4%